

# 令和4年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業について

## 1. デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)の活用

### <交付金の趣旨>

地域再生計画に記載された、地方版総合戦略に基づく地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度(概ね5か年度以内)にわたり安定的・継続的に支援するため、創設されたもの。

### <対象事業>

- ①先駆性のある取組(官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の先駆的要素が含まれる事業)
- ②先駆的・優良事例の横展開
- ③地方創生の観点から取り組む未来技術を活用した新たな社会システムづくりの全国的なモデルとなる取組

## 2. 草津市における「デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	令和4年度 予算額(円)	令和4年度 実績額(円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容	総合戦略における事業の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)		事業終了後の実績値 (青: 目標達成、赤字: 未達)		実績値を踏まえた事業の今後について		外部有識者からの評価	
							指標	目標値	実績値	事業効果 ※1	今後の方針 ※2	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見
1	(1)事業名 三方よしの持続可能な健康寿命延伸プロジェクト  (2)担当課 草津未来研究所(UDCBK)、健康福祉政策課、健康増進課、スポーツ推進課(滋賀県、草津市、愛荘町による連携事業)  (3)計画期間 令和4年度～令和6年度	【全体分】 109,267,000円 【草津市分】 9,402,000円	【全体分】 97,475,624円 【草津市分】 6,501,929円	【交付金】 3,250,964円 【補助率】 1/2	【事業概要】 『誰もが生涯、自分らしく、「からだもこころも」健やかに仕事や地域活動に取り組むことができるまち』の実現に向け、「ビジネス化による地域経済活性化」や「主観的健康感の向上のための取組」などを推進する。  【事業内容】 ・働き盛り世代、若年世代向け健康づくりイベントによる地場産業の振興 ・医療専門分野と連携した地域交流型イベント等の実施により、健康づくりに対する知識の普及と、参加者間・地域間の交流や市民と専門家等との交流の場の創出を行う取組 ・3密を回避し、市民が集いやすい公共空間の在り方や活用方法に関する先進的な調査データや研究事例を活用し、整備に向けた学習事業や社会実験準備事業等を実施する取組	戦略目標 地域の支え合い推進プロジェクト	(1)本事業の取組により事業化・商品化した数 現状値:R3 0件	R4 14件 R5 15件 R6 17件	31件 31件(滋賀県分) 0件(愛荘町分) 0件(草津市分)	地方創生に効果があった	事業の継続 (計画通りに事業を継続する場合)	令和4年度に実施した草津市健康都市づくり推進委員会での意見や他の関連事業の実施状況等を踏まえ、令和5年度以降においても健康都市くさつの実現に向けた取組を進める。	事業がKPI達成に「有効であった」もしくは「有効とは言えなかった」のいずれかで評価	事業について、「評価できる点」もしくは「何が良くなかったのか」、「考えられる原因、改善策は何か」といった意見があれば記載
							(2)主観的健康感の向上に関する取組に参加した県民の数を6万人とする 現状値:R3 0人(延)	R4 15,000人(延) R5 20,000人(延) R6 25,000人(延)	22,167人(延) 9,704人(延)(滋賀県分) 9,889人(延)(愛荘町分) 2,574人(延)(草津市分)					
							(3)県政世論調査で「健康的な生活を送れていると感じるか」という問いに対し「感じる」と答えた県民の割合を50%とする 現状値:R3 40.2%	R4 43.2% R5 46.2% R6 50.0%	37.30%					
2	(1)事業名 健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト  (2)担当課 商工観光労政課(滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、米原市、日野町による連携事業)  (3)計画期間 令和3年度～令和5年度	【全体分】 115,482,000円 【草津市分】 2,600,000円	【全体分】 106,790,396円 【草津市分】 2,496,423円	【交付金】 1,248,211円 【補助率】 1/2	【事業概要】 「ピワイチ」を健康でエコなニューツーリズムとしてブラッシュアップするとともに、サイクリングに興味のない方も含めた幅広い年代・様々な層に訴求できるサイクリングを県内の観光資源や公共交通などと組み合わせて展開し、ツアーガイドを中心とした民間事業者を担い手として、県内全域での経済効果につなげていくための取組を行う。  【事業内容】 ・サイクリングイベント事業	戦略目標 にぎわい・再生プロジェクト	(1)健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増加額 現状値:R2 0円	R 3 +400百万円 R 4 +279百万円 R 5 +134百万円	R4 +469百万円 「R4:2,485百万円」-「R3:2,016百万円」=469百万円	地方創生に効果があった	事業の継続 (計画通りに事業を継続する場合)	令和4年度はピワイチ観光推進事業として「びわこ・くさつグルメリイド」を実施。総勢280名の参加者の中には、近畿県外からの参加者や女性参加者、事務局が目標としていたサイクリング入門者やファミリー層の参加もあり、草津市を発着点とした、約50キロ(草津市・大津市・守山市を巡る)を周遊するコースで、ピワイチや草津市をはじめとした湖南地域の魅力を広域的に発信することができた。このことから、令和5年度についても、引き続き事業を実施しながら、運営方法やイベントコースの改善、自走化に向けた協賛金の取り込み等、今後を見据えた計画を予定している。		
							(2)サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO2削減の増加量 現状値:R2 0t-CO2	R 3 +562 t-CO2 R 4 +393 t-CO2 R 5 +193 t-CO2	R4 +948 t-CO2 「R4:2,329 t-CO2」-「R3:1,381 t-CO2」=948 t-CO2					
							(3)女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数 現状値:R2 0人	R 3 +300人 R 4 +1,150人 R 5 +400人	R4 +976人 「R4:1,982人」-「R3:1,006人」=976人					

※1 「事業終了後の実績値」欄のうち、「事業効果」欄については、以下に基づき評価を行いました。

選択肢	基準
地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね(7~8割程度)成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

※2 「実績値を踏まえた事業の今後について」欄のうち、「今後の方針」欄については、以下の基準等を踏まえて、令和5年度以降の方針を示しました。

選択肢	基準
事業の発展	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる場合
事業の改善	事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った)場合
事業の継続	計画通りに事業を継続する場合
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した)場合
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)場合

※3 「外部有識者からの評価」欄のうち、「事業の評価」欄については、草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会委員の意見を踏まえて、以下から選択します。

選択肢
地方版総合戦略のKPI達成に有効であった
地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった